



セカンドブック事業

京都府 京丹波町中央公民館図書室

基本データ

所在地	京都府船井郡京丹波町 蒲生野口 38 番地
職員数	1 人
うち司書数	1 人
蔵書数	22,731 冊
利用登録者数	2,651 人
年間貸出冊数	11,134 冊 (児童用図書貸出数 5,159 冊)

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】子供の読書啓発、子供に対するサービスの充実

【活動のねらい】

- 小学校への入学をひとつの区切りに、本に出会う機会、本に親しむ機会を設けること、また、町内図書室職員が図書室の紹介や絵本の読み聞かせをすることで、町内図書室に関心をもってもらい、利用を促進することが目的である。

取組・活動の概要

【対象】町内各小学校の小学1年生

【頻度】年1回

【時期】12月中旬

【内容】

- 本に親しみを感じてもらい、町内図書室の利用に繋げることを目的に、町内の小学1年生に絵本を1冊ずつプレゼントする。
- 図書室担当職員が作成して事前に配布した絵本のリスト（約15冊）から、児童一人ひとりに欲しい1冊を選んでもらい、各自の希望に沿った絵本を贈呈。
- 贈呈の際には、各小学校の教室に図書室職員が出向き、児童一人ひとりに手渡しする。
- 併せて、図書室職員が町内図書室の紹介を行い、絵本の読み聞かせを実施。
- 町内の図書室6室と教育委員会、町立小学校5校が連携して行っている。

取組・活動の工夫や特徴

- 本町では0歳児を対象に絵本をプレゼントする「ブックスタート事業」を実施しており、この「セカンドブック事業」は町からの2度目の絵本の贈呈になる。
- 従前は図書室との連携なしに本事業を実施し

ていたが、この事業をきっかけとして図書室の利用を促し、長く本に親んでもらうことを目的に、平成30年度から図書室と連携している。

- 1冊の本を贈呈するだけにとどまらず、図書室職員が町内図書室の紹介や図書室にある本の紹介、絵本の読み聞かせを行うことで、本や図書室に興味をもち、継続的に本とのかかわりを持ってもらえるよう工夫している。
- 絵本はクリスマスプレゼントとして、包装紙やリボンで個別包装。



クリスマスプレゼントとして絵本を手渡しして贈呈

- 令和元年度はSEAの協力のもと、サンタからの英語絵本の読み聞かせも併せて実施。

取組・活動の成果や今後の展望

- 本を受け取った児童が皆輝くような笑顔になり、「開けてもいい？」と待ちきれない様子で喜んでくれていることを実感した。
- 低学年時から本に関わる機会を設けることで、児童の図書室利用に繋げていきたい。